

# れんめい和歌山

## 第61号

発行者  
 和歌山県看護連盟  
 和歌山市太田4-11-18  
 リベラルパレス太田501  
 電話 073-488-6575  
 F A X 073-488-6580

発行責任者  
 石橋 隆子

### 2019年度通常総会に向けて



カンタ      レンコ

## 2019・5 CONTENTS

「2019年度総会を迎えるにあたって ～この1年を振り返る～」	
和歌山県看護連盟 会長 石橋 隆子	2
“Nursing Now”（看護の力で健康な社会を!!）	
日本看護連盟 会長 草間 朋子	2
「ごあいさつ」	
衆議院議員 あべ 俊子	3
参議院議員 たかがい 恵美子	3
参議院議員 石田 まさひろ	4
衆議院議員 木村 やよい	4

#### 研修会報告

紀南・日高支部合同研修会	5
和歌山県看護連盟 和歌山第1第2第3支部、海南海草支部、有田支部合同研修会	5
那賀・紀北地区支部、看護協会・看護連盟 合同研修会	6
和歌山県看護協会・看護連盟合同研修に参加して	7
石田まさひろ参議院議員との懇親会に参加して	8
2019年度 和歌山県看護連盟通常総会プログラム	9
2019年度 和歌山県看護連盟事業計画(案)	10～11
連盟からのお知らせ・編集後記 他	12



## 2019 年度総会を迎えるにあたって ～ この1年を振り返る ～



和歌山県看護連盟 会長 石橋 隆子

昨年度の総会后、各支部長はじめ、会員のみなさまにすべての面でご協力いただき事業計画に沿って運営を行ってまいりました。

重点方針の力強い組織作りでは、各支部長さんのご指導を得て連盟会員施設に会長就任の挨拶を兼ね、施設訪問を実施いたしました。

組織力の強化・拡大では、当然看護協会の政策実現のため、連盟の役割として、看護協会との話し合いに心がけ、会議を持ちました。具体的には研修計画において連盟会員のみならず看護協会会員に対しても広報していただきました。そして何よりもうれしかったのは看護協会長様に研修でのご挨拶をお願いし、両会員そして全看護職の皆様、協会と連盟の関係について理解を深めていただきました。研修会場や役割にもご協力を頂きました。

また組織作りでは幹事会と委員会会議の2本立てを統一して合同会議とし、全役員の情報共有を図るとともに意見の活性化を目指しました。研修会や施設訪問では連盟情報誌や会員ハンドブック、その他グッズ等を利用して未加入施設に働きかけました。しかし、施設数は拡大できたものの会員数の目標には届きませんでした。引き続き一層の努力が必要です。これからの活動には、各支部の青年部活動を中心に会員の中でも賛助会員、特別会員そして学生会員の増に期待するところです。

さらに、成熟・自律した活動では政治力の強化の点において、看護政策に目を向けることは当然ですが地方議会・地方行政にも関心を持ち関わっていくことの重要性を感じたこの1年でした。折りしも今はNursing Nowのキャンペーン中です。メインテーマ「看護の力で健康な社会を！」私たちがこれを心に頑張りたいと思います。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



## “Nursing Now” (看護の力で健康な社会を!!)



日本看護連盟 会長 草間 朋子

新緑が目にも染みる季節を迎えました。

新たな年号の下、それぞれの職場では希望と夢に胸を膨らませた新人看護職のみなさんを迎え、にぎやかな、そして多忙な毎日をお過ごしのことと思います。

新人の離職率が10%を超え問題になった時期がありましたが、最近では、7%台に落ちついております。とはいえ、7%ということは、約4000人の新人が、1年以内に職場を辞めたり、移動していることとなります。看護大学約40校分の定員に相当する人数です。離職の理由として上位に挙げられているのは、看護技術等に自信が持てないこと、人間関係などです。看護協会は、看護基礎教育4年制化を重点政策に挙げております。基礎教育で習得できるスキル、急性期の病院を中心とした実習環境等を考えると、平成21年の保助看護、人確法の改正により、努力義務化された新人研修を、義務化し、看護基礎教育と、新人研修を一本化する取り組みも必要な時期ではないでしょうか。

日本看護連盟は、日本看護協会と連携して“Nursing Now”(看護の力で健康な社会を!!)のキャンペーンを進めることし、看護の日にキックオフのイベントが行われます。



## 衆議院議員 あべ 俊子

今国会では、医療情報を扱うための法律案が審議されています。法案可決後は、医療分野における情報連携が進み、より効率的・包括的な保健医療サービスの提供へ舵が切られます。ですが、いくら良いサービスが整備されたとしても、社会保障の土台を看護が担うことに変わりはありません。多様化する社会ニーズに応えられる看護であるため、働きやすい職場環境の整備に引き続き取り組んで参ります。

現在外務副大臣を拝命しておりますが、3月23日には硫黄島での戦没者合同慰霊追悼顕彰式に参列いたしました。今日の平和と繁栄は、尊い犠牲の上に築かれたものであることを忘れることなく、この平和を次世代に繋げていくこと。その重要性を改めて誓いました。また、外務省だからこそできる、災害復興にも取り組んでいます。先日、在日女性大使と一緒に、福島を訪問し、大震災からの復興や食の安全への取り組みを学びました。海外の皆さまにも“今の福島”を発信できたのではないかと思います。今後も継続した復興支援に努めて参ります。



## 参議院議員 たかがい 恵美子

鮮やかな新緑に活力を感じる季節です。和歌山県看護連盟の皆様には平素より多大なるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

またこの春は、国内外の人々のよろこびとともに晴れて令和元年を迎えることができ、感激もひとしおです。

我が国はいま、人生百年時代の到来に備え、生産年齢人口が激減する中であっても地域の活力を維持し、盤石な社会保障制度が保たれる新たな調和のしくみを創り上げようとしています。その一環である働き方改革では、すべての看護職が待望する所期の願いが叶えられ国民福祉の向上が図られるよう、心通う政策立案を心がけて参ります。

今国会では女性活躍推進法改正により、職場でのハラスメント防止対策が強化されます。働く人の笑顔を守る労働環境の実現に尽力する覚悟です。7月には看護の意志を示す参院選が予定されています。私たち一人ひとりの願いを込めて「看護のイシダ」を浸透させましょう。



## 参議院議員 石田 まさひろ

和歌山県看護連盟の皆様、日頃より温かいご支援を賜りありがとうございます。日増しに陽射しも濃くなり、勝負の夏が近づいてまいりました。

さて国会は会期半ばを過ぎ、法案審査にも熱が入っています。私は参議院厚生労働委員長として、「女性活躍に関する法改正（特にハラスメント防止対策）」や「児童虐待防止強化」など5本の法案について尽力しています。法案がより良いものになるように努め、国民の福利向上を目指す所存です。

また今年も引き続き看護現場を訪問しております。記録や書類の削減によって皆様の看護がより充実するよう、国政の場で取り組みを進めています。

令和という新元号・新時代を迎え、看護の力で日本を元気する決意を新たにしています。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 衆議院議員 木村 やよい

和歌山県看護連盟の皆さま、こんにちは。

第198回国会も折り返し地点となりました。7月の石田まさひろ先生の参議院選挙に向けて、看護のチカラを結集してまいりましょう。

4月12日は、自民党看護問題対策議員連盟の総会があり、司会を務めました。この議連には350人の衆参国会議員が所属しています。日本看護連盟を先頭に、各団体が要望を伝えました。

4月17日は、衆議院厚生労働委員会で女性活躍推進法について質問し、高階恵美子副大臣がご対応くださいました。具体的には、看護職に対するハラスメントの実態把握、患者・家族からのハラスメント対策のための具体的支援など。インターネット中継などご覧いただけます。

令和の時代の日本をより良い国にしていくために、令和の時代に、看護職がますます力を発揮する、そんな社会になるよう、これからも看護職議員として頑張ります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくようお願い申し上げます。

## 研修会報告



## 紀南・日高支部合同研修会

紀南支部 支部長 澤越 純子

施設訪問の機会に、支部研修開催する場合希望する講師の有無について伺うと、坂本すが先生との声が多かった。支部研修であり身近で受講できる研修とするために、那智勝浦温泉病院と田辺市内のピックUで開催とした。坂本すが先生には午前の部と午後の部の2回の講演でハードプランではあったが快く応じてくださった。テーマは「社会の期待に応える看護と、看護政策」で、日本看護協会会長として、何を考え、何をしてきたか、これから何をしていくか。政策提言・政策実現にむけ看護には政策が必要。現状を改善したり、働く人を支援するために法律や制度の仕組みを変えていく必要がある。現場の努力だけでは解決しない様々な問題、新たな課題がある。そのために看護職代表を国会に送ることは重要とも話された。アンケート結果では、元気をもらった。看護職を誇りに思い仕事をしていく。今後の看護に対して心の持ちようが変わったなど多数感想があった。連盟に関しては、連盟活動を始めて知った。連盟のPR不足では、入会し活動に協力したい等で今後の参考になった。参加者は95名であった。



## 研修会報告

和歌山県看護連盟 和歌山第1第2第3支部、  
海南海草支部、有田支部合同研修会

2019年2月3日13時～15時

有田支部 支部長 丸山 重人

和歌山県看護協会研修センターにおいて看護連盟 会員・非会員を対象とし、講師として東京医療保険大学副学長 坂本すが先生(元日本看護協会会長)に「連れもて聞こら 看護職の昨今・未来」の講義をしていただきました。出席者数136名 会員88名 非会員48名でした。はじめにDVD「おばあちゃんの思い出」を鑑賞し、看護連盟活動の基礎を再確認しました。続いて和歌山県看護連盟石橋隆子会長が挨拶し、本日は非会員の方にも看護連盟を理解いただき、まわりの看護協会会員の方々に、広めていただきたいとお願いをしました。

坂本すが先生の講義は、看護政策を実現するためには法律や制度、仕組みを変える必要があること。医療を取り巻く社会の変化、看護の将来ビジョン、看護基礎教育制度の改革等について実際の現状に照らし合わせてわかりやすく話していただいたので、大変興味をもって聴講でき、今後の活動にどう生かしていくかを、詳しく学ばせていただきました。



## 研修会報告



## 那賀・紀北地区支部、 看護協会・看護連盟 合同研修会

紀北支部 支部長 王野 祥子



開催場所：粉河ふるさとセンター

開催日時：3月23日(土) 13:30～17:00

総合司会：安川診療所 院長 安川 修 先生

シンポジスト：平岡 桃重 様 訪問看護認定看護師

高陽会訪問看護ステーション

宇田 賢史 様 認知症看護認定看護師

和歌山県立医科大学附属病院

矢出 装子 様 訪問看護認定看護師

訪問看護ステーションなだい

岸田 悦子 様 認知症認定看護師

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院

金澤 充雄 様 薬剤師

紀の川市粉川 金尾薬局

合同研修会のテーマ、第一部は、「認知症の方への生活支援を支えるアプローチを考える」と題し、シンポジストの方々よりそれぞれの立場・施設で取り組んでこられた事例をもとに対応やコミュニケーション方法等、認知症の方の視点に立って考える多くの大切さを学びました。

看護の対象は「人」であり、患者様に関わるなかで私たち医療職は「生きる」をどう支えるかを再認識できる機会となり、安川先生からは、今回のテーマである認知症の方やそのご家族への支えは医療より看護の力が絶大とのお言葉をいただきました。

第二部は、中谷病院 在宅事業部 部長 川村 健太さんより、「看護活動で看護を元気にする！知ってるつもりの看護連盟活動」をテーマにご講演いただき、会員・非会員問わず 103 名（那賀支部 58 名・紀北支部 45 名）の方々にご参加いただき開催できましたことに感謝申し上げます。

## 研修会報告



## 和歌山県看護協会・看護連盟 合同研修に参加して

和歌山第3支部 委員 片山 理恵



日 時：平成 31 年 2 月 16 日 (土)  
場 所：和歌山県看護研修センター

「看護政策の実現に向けて看護協会と看護連盟の連携・協働」というテーマで、日本看護連盟会長の草間朋子先生に口演していただいた、和歌山県看護協会・看護連盟合同研修に参加させていただきました。

対象は看護管理者等で、参加者 89 名、 会員 72 名、 非会員 17 名でした。

草間先生の略歴から、今までの看護協会と看護連盟の活動についてわかりやすく説明いただき、いかにして看護職の地位をあげてきたかが理解できる内容でした。

また、看護職の職場環境を改善し、これからの看護職のために看護を代表する国会議員を応援することが必要であることを切実に話されていました。

患者さんのより良い入院生活や在宅での療養生活を支えるために、看護として困っていることを声にしていかなければならないと感じました。

今年度行われる参議院議員選挙で投票に行くよう働きかけること、看護協会・看護連盟の理解を深めて協力していくことが大切であると良くわかりました。



## 石田まさひろ参議院議員との 懇親会に参加して

**午前の部** 平成 31 年 3 月 16 日 10 時～12 時

日高支部・青年部 運営委員 **村永 エリ**

看護の代表国会議員の石田まさひろ先生の懇親会（午前の部）が、御坊市北出病院会議室で開催され参加させていただきました。今回は、ワールドカフェ形式で各グループの現場の課題や、看護に対する想いをカフェにいる雰囲気の中、話し合いに熱中しました。石田先生からは、日本の未来を支える看護・医療に対する明日からの仕事がまた楽しみになるようなお話が聞けました。

消灯時間廃止をした病棟のお話は、とても興味深々でした。本来の患者中心とは？患者に寄り添うとはどういうことか？業務中心になっている現場に、疑問符を投げかけられました。

毎日ゆとりがなく、慌ただしいばかりで、疲弊している私達ですが、やる気とパワーをいただきました。益々のご活躍を、私達看護師とともによろしくお祈り申し上げます。



### 午後の部

平成 31 年 3 月 16 日  
14 時～15 時 30 分

紀北支部青年部リーダー

**田中 君枝**



石田まさひろ参議院議員が来県され『ホテルいとう』で懇親会が開催され参加させていただきました。

ワールドカフェ形式 6 名 8 グループで石田まさひろ参議院議員とテーブルを囲み意見交換を行いました。

病院や施設での違いに興味がわき、共感する事もあり話が弾みました。石田まさひろ参議院議員からは政治からの意見だけでなく看護職としてのご意見もいただき、とてもためになる内容でした。

今回、より良い医療・看護が提供できる体制ができるように、石田まさひろ参議院議員と直接お話する機会が持て、現場の生の声を聞いていただけた事で政策に反映していただけるのではと更なる期待が膨らみました。参加された看護連盟会員の方だけではなく、非会員の方からも参加してよかったとお声もいただきました。青年部のメンバーとして私たち、医療の取り巻く環境が改善できるように今後も活動に参加していきたいと思ひます。



## 2019年度和歌山県看護連盟 通常総会プログラム

月 日：2019年6月23日(日)

場 所：プラザホープ 4階ホール

12:20 開 場  
12:55 オリエンテーション  
13:00 開 会  
挨拶 和歌山県看護連盟会長  
来賓祝辞  
来賓紹介  
祝電披露  
13:55 来賓退席



議長団選出  
14:00 報告事項  
1. 2019年度通常総会報告  
2. 2019年度日本看護連盟主催会議報告  
3. 近畿ブロック協議会主催会議・研修報告  
4. 2019年度県役員・関する委員会報告  
5. 2019年度研修報告  
6. 2019年度代議員報告  
7. 2019年度活動報告  
8. 2019年度決算報告  
9. 2019年度監査報告(会計監査報告)

### 審議事項

第一号議案 2019年度スローガン(案)  
第二号議案 2019年度活動計画(案)  
第三号議案 2019年度予算(案)  
第四号議案 選挙対策(案)  
第五号議案 役員選出

新旧役員挨拶  
綱領宣言  
日本看護連盟の歌斉唱

14:55 総会終了

15:00 特別講演 テーマ「看護と政治」  
講師 フリージャーナースの会 会長 大島 敏子 先生

16:30 閉 会





## 2019 年度 和歌山県看護連盟事業計画 (案)

### 重点方針

### 1. 選挙の勝利 2. 力強い組織の創成 3. 成熟・自律した活動

目的	目標	方針	活動
政策実現力の強化	1. 看護職国会議員の選出・支援	1) 第 25 回参議院議員選挙において、候補予定者を高得票数で当選させる。 2) 4 人の看護職国会議員の確保 3) 公職選挙法の遵守 4) 第 26 回参議院議員選挙の組織内候補予定者の選考	1)-1 和歌山県看護連盟として 5000 票を獲得する。 -2 連盟会員としての日常の政治活動を強化する。 「石田まさひろ議員を応援する会」親会員 80% を達成する。 -3 市・町村議員の政治活動状況を知り応援する。 -4 期日前投票を施設代表者が確認し投票を呼び掛ける働きを支部長が協力する。 2)-1 4 人の国会議員の名前及び活動状況を周知する。 3)-1 選挙管理委員会委員による研修
	2. 看護政策の実現	1) 県看護連盟の政策実現力の強化 2) 現場の声の把握 3) 看護政策実現に向けて看護協会との連携 4) 医療系・介護系団体との連携	1)-1 県議員の「看護を考える部会」との会合を持つ。 -2 県選出の国会議員の政策説明会等に参加し連携を密にする。 -3 看護問題小委員会に要望書を提出する。 -4 看護問題対策議員連盟を活用する。 2)-1 「現場の声」を集約し要望書等につなげる。 3)-1 要望書作成は、日本看護協会と綿密な協議を行い共同して行政・議員等へ提出する。 4)-1 医療系・介護系団体との連携を図る。
	3. 看護を理解する国会議員の確保と支援	1) 県選出の国会議員との連携強化	1)-1 日本看護連盟と国会議員との交流の場を持つ。 -2 県選出の国会議員の政策説明会に参加する。 -3 県が支援している国会議員に看護政策の必要性の理解を図る。 -4 県選出の国会議員を支援する体制を強化する。
	4. 地方議員、地方行政への影響力の強化	1) 地方議員との情報交換と活動支援 2) 地方議員、行政等との情報交流	1)-1 地方議員との交流の場をもうけ、連盟に対する理解を深めて頂く為交流を定期化する。 -2 地方議員の活動を支援する。 2)-1 地方議員、行政等へ要望書を提出する。 -2 地方行政の看護政策に関する情報を積極的に入手するために県会の傍聴する。 -3 看護政策実現のために地方行政への働きかけのため政策委員会中心に活動計画を立て実行する。
	5. 地方議員の擁立と支援	1) 地方議員との連携強化	1)-1 地方議員の政治活動を知る。 -2 地方議員の活動に積極的に参加する。
組織力の強化・拡大	1. 看護連盟・看護協会との連携・協働	1) 和歌山県看護協会との連携 2) 県看護連盟の主体的活動	1)-1 県看護協会役員と看護政策について連盟の役員・委員会委員合同会議において協議する。 2)-1 看護協会との合同研修において会場、受講募集案内発送等その他協力を得る。 -2 看護協会の施設代表者会において看護連盟について説明と加入の協力を訴える。 -3 看護協会総会・看護連盟総会に各都道府県の看護協会、連盟の会長が相互に参加する。
	2. 看護連盟の活動強化の周知徹底	1) 連盟役員・幹事との情報の共有化 2) 連盟活動の PR 3) 活発な情報交換	1)-1 役員・委員会委員合同会議と各種委員会活動を活性化する。 -2 本部ホームページを活用し情報を共有する。 2)-1 機関誌「れんめい和歌山」を活用充実を図る。 -2 会員ハンドブックや各種グッズの活用を図る。 -3 研修計画について教育委員会や青年部委員会の意見を取り入れる。 -4 看護職国会議員のビデオメッセージを活用する。 -5 看護職代表国会議員の国政報告会を開く。 3)-1 効果的・効率的で親しみやすい研修を企画し実施する。 -2 看護職国会議員のビデオメッセージを活用する。 -3 国政における看護職議員の活動を報告する。 -4 看護職代表国会議員の国政報告会を開催し情報の共有化を図る。 -5 市町村議員の選挙に参加し応援する。

目的	目標	方針	活動
組織力の強化・拡大	2. 看護連盟の活動強化の周知徹底	4) 自立した会員の育成	4)-1 連盟未加入施設や未入会者に対し連盟活動の理解を深める。 -2 各種研修会に参加し理解を深める。
	3. 会員数の増加	1) 2019年度の増員目標数の設定 2) 看護連盟入会の促進 3) 学生会員の確保と増について 4) 会費の納入方法について 5) OB会支部の活性化	1)-1 連盟会員数は平成30年度会員数(31年度連盟総会代議員に反映した数)より2割増とする。 -2 特別会員を増やす。 2)-1 県看護協会役員の連盟加入を促進する。 -2 国公立病院や看護系大学等の会員増に向けて看護協会と検討する。 -3 医療機関以外の施設で働く看護職員へ入会を働きかける。 -4 看護連盟未加入者の多い施設の会員増に向けて交流の機会を作る。 -5 産休・育休者に連盟会員の継続を働きかける。 3)-1 看護基礎教育の教育内容に「看護政策」を取り入れるよう働きかける。 -2 県の学生会員数を増員する。 4)-1 会費の納入方法について本部の情報を支部長に伝える。 5)-1 OB会(個人会員)を支部組織として活性化を図る。
	4. 日本看護連の効率的運営	1) 和歌山県看護連盟の規約等に基づいた効率的な運営 2) 財政等の健全化と適正化	1)-1 コンプライアンスに基づく組織運営を行い、効果的・効率的な本部運営に取り組む。 -2 組織運営に当たって必要とされる申し合わせ事項を整備し、継続的な運営ができるようにする。 2)-1 経費削減に努め、活動の活性化を図る。(予算内に組み込む)
	5. ブロック協議会の活動強化・促進	1) ブロック協議会の活性化	1)-1 ブロック協議会に参加し情報交換を図る。 -2 ブロック協議会の内容について各支部長に報告する -3 ブロック別看護管理者等政策セミナーに参加する。
	6. 支部組織の活動の強化・促進	1) 支部組織の強化 2) 支部役員・リーダーの意識強化 3) 各支部会員のモチベーションの強化	1)-1 県支部組織について検討する。紀南支部の分割について情報の共有化をはかる。 2)-1 役割を發揮できる適正な数のリーダーの育成を支援する。 3)-1 和歌山県看護連盟において看護職国会議員によるミニ研修会等を開催し、国会議員との交流を深める。
	7. 若手会員の育成	1) 若手会員の活動の活性化 2) 青年部ブロック会議の活性化 3) 若手会員の活用の促進	1)-1 若手会員の活動を推進する機会・場を設ける。 2)-1 各支部内の青年部の連携強化と情報の共有化を図る。 3)-1 役員・委員等に若手会員を登用する。
	8. 関係団体・関係組織との連携・協働	1) 看護協会以外の関係団体との交流の促進 2) 支援団体との交流の促進 3) 支援企業との交流の促進 4) 看護系教育機関との交流の促進	1)-1 看護協会以外の関係団体(訪問看護ステーション連絡協議会、社会福祉士会、介護福祉士会との交流の機会をつくる。 2)-1 支援団体との交流の機会をつくる。 3)-1 支援企業との交流の促進 4)-1 看護系教育機関との交流の機会をつくる。
	9. 現場の課題への対応	1) 現場の声活用促進委員会等の意見・提言などへの速やかな対応 2) 支援団体との交流の促進	1)-1 ホームページ「現場の声活用促進委員会」の情報から問題解決策を話し合う。 -2 議員の取り組む課題等についての意見を、ホームページを活用して集約する。 2)-1 現場における課題を明確にし、解決に向けて検討する。
	会員の福祉の充実	1. 災害への対応	1) 災害発生地への支援
2. 福利厚生への対応		1) 日本看護連盟内規に基づく対応	1)-1 名誉会員・叙勲等受章者への対応を行う。 -2 物故者への対応をする。 -3 慶弔等への対応は日本看護連盟内規に準じる。
3. 諸問題への対応		1) 会員の安全の保証	1)-1 コンプライアンスに基づく政治活動、選挙運動のための情報交換を行う。 -2 諸般の疑問・問題には、専門家と相談し速やかに解決する。



# 連盟からのお知らせ



## 日本看護連盟総会

日時：令和元年 6月 14日（金） 13：20～  
 場所：ザ・プリンスパークタワー東京

## 和歌山県看護連盟通常総会

日時：令和元年 6月 23日（日） 13：00～  
 場所：和歌山県勤労福祉会館プラザホープ 4 F

### 平成 31 年度 連盟会員 入会受付中！

日本看護連盟会費 5,000 円  
 和歌山県看護連盟会費 3,000 円

**年会費** 計 8,000 円



皆様のご入会を  
お待ちしております。



れんめい和歌山は、年間 3 回発行しております。今回は平成 30 年度最終号です。  
 いよいよ今年 7 月には参議院選挙が行われます。私たち看護の代表を国政へ送るため、  
 ご支援よろしくお願ひします。

広報委員一同



## 東洋羽毛の 無料!! コーヒーサービス



東洋羽毛では、お世話になっている方々に無料コーヒーサービスを行っております。院内での師長会議・主任会議・ラダー研修会・研究発表会・勉強会等、地域や支部での看護部長会・看護研修会等での休憩時にホッと一息つきませんか？

〔片隅にちょっとだけ、企業PRとしてお布団を置かせて頂いております。ご購入にも応じます。〕

どんな所でも無料で出張サービスさせていただきます

東洋羽毛関西販売株式会社



0120-88-2104 お気軽に御利用ください。